

取締役会の実効性評価について

当社は、取締役会の実効性向上を図るため、毎年1回、取締役全員に対してアンケートを実施し、取締役による自己評価を行うとともに、各取締役に対する個別インタビューにより改善点や課題を抽出し、取締役会で分析・評価を行っています。2022年度に実施した取締役会の実効性評価のプロセス及び結果の概要は以下のとおりです。

1. 評価プロセス

(1) アンケート

- ①対象者 取締役10名全員（社内取締役4名、社外取締役6名）
- ②回答方式 5段階の選択方式
- ③主な評価項目
 - ア. 取締役会の構成について
 - イ. 取締役会の運営について
 - ウ. 社外取締役への対応について
 - エ. 取締役会を支える体制について
 - オ. リスクマネジメントについて
 - カ. 取締役のトレーニングについて
 - キ. 指名委員会等設置会社への移行について
 - ク. サステナビリティの取り組みについて
 - ケ. ステークホルダーとの対話について

(2) インタビュー

- ①対象者 取締役全員
- ②インタビュアー 取締役会事務局
- ③インタビュー内容
アンケートの結果を踏まえた個別インタビューによる意見聴取

(3) 取締役会での分析・評価

取締役会はその役割、責務を果たしているなど、おおむね適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されているとの評価結果が出ています。

2. 評価結果

(1) 前回の評価結果を踏まえた取り組み

2021 年度の実効性評価において抽出された課題等に対し、以下のような取り組みを進めました。

ア. 取締役会の多様性確保について

指名委員会等設置会社への移行を契機として、女性取締役を 2 名増加、社外取締役の員数を過半数に増加する等、成果がありました。

イ. 取締役会の運営について

取締役会のオンライン開催や資料共有における WEB システムの活用、また業務執行状況の報告における定性情報の拡充に努めたことで、議論の質が向上し、審議事項への理解について改善がありました。

ウ. 社外取締役への対応について

営業会議やリスク・コンプライアンス委員会にオブザーバーとして参加する機会を増加させることで、業務に対する社外取締役の理解を深めました。

エ. サステナビリティの取り組みについて

四半期に一度のペースでサステナビリティ委員会を開催し、審議内容等について取締役会に報告しています。2022 年度は当社グループのマテリアリティ（重要課題）の策定等を進めました。

オ. ステークホルダーとの対話について

機関投資家との IR 面談の状況等について、取締役会へのフィードバックを行いました。

(2) 今後の課題への対応

2022 年度の実効性評価において抽出された課題を踏まえ、2023 年度においては、主に以下の取り組みについて推進することを決定いたしました。

ア. 中長期的な経営戦略に関する議論の活性化

イ. 取締役会への提供資料の充実

ウ. 指名委員会の運営体制の強化

エ. 取締役へのトレーニングの更なる充実

当社はこれらの取り組みを通じて、取締役会の実効性向上を図るとともに、コーポレート・ガバナンスの一層の強化に努めてまいります。

以 上